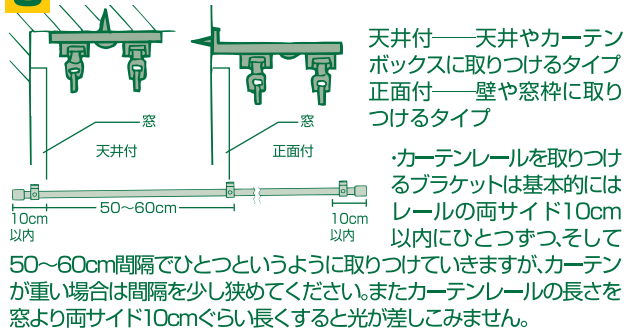
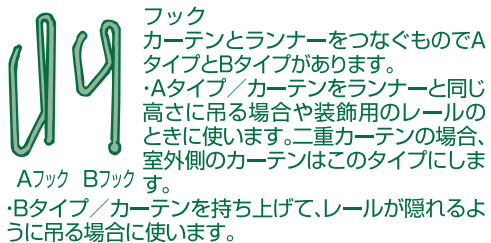


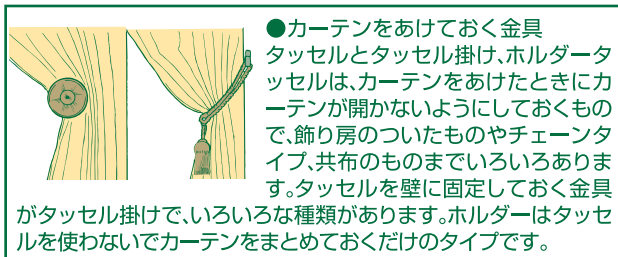
### 3 カーテンレールの取り付け



### 4 カーテンレールの部品のいろいろ



微調整  
つきフック  
A・B両方のタイプにもなり、その他カーテンの高さを調節したいときに便利です。

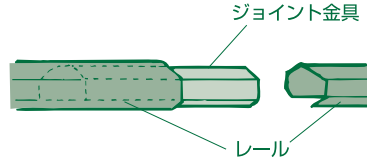


## ここがポイント!

### カーテンレールの長さ調節

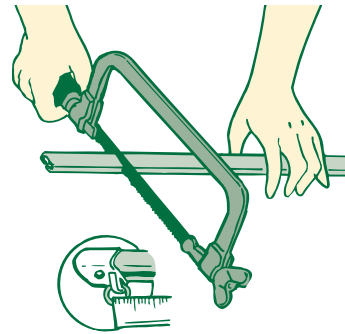
#### 短いとき

ジョイント金具でレールとレールをつなげます。ストレートレールとカーブレールをつなぐときにも使います。取り付けは、レールとレールの間にさしこむだけです。



#### 長いとき

キャップストップ分の長さも考慮して、少し短めに金切りのごで切断して、キャップストップをつけます。  
※シングル、ダブルともに伸縮するレールもあります。



### サービスのご案内



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部  
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

# カーテンの吊り方

自分でやってみよう!

セキチュー  
**How to D.I.Y**

75



風にさわやかにびくカーテンを眺めていると、ゆらぎの気分で心が満たされてきそうです。季節を演出するインテリアとしてはとても重要な役目を果たしているカーテンですが、できれば夏は涼しげで軽いもの、冬は暖かさを感じさせる重厚なものにと、カーテンを変えるだけで、季節感も出せます。形もアーチ型にしたり、カフェ風のものや組み合わせたりと、オリジナルな演出が楽しめます。カーテンひとつでインテリアの表情も変わりますので、ぜひカーテンを見直していただきたいものです。

# カーテンの種類と基本的な吊り方

## カーテンの種類

### ■プリント

平織り生地にパターンをプリントしたもので、ヒダなしのカーテンにすることが多く、軽快な感じのカーテンになりますが、一枚では夜になると透き通り、外からよく室内が見えるようになるので、レースとの二重吊りにした方がいいでしょう。

### ■ドレープ

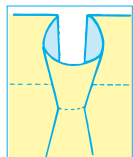
太い糸を染めて織ったもので、厚地で、通気性の少ない生地です。したがって遮光性や保温性、防音性に優れているので、居間や寝室に向いています。またレースカーテンと二重吊りにするとさらに装飾性が高まります。

### ■レース

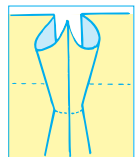
細い糸で織ったり、編んだもので、透光性がありますが、昼間は逆に室外の視線をさえぎります。一般的にはドレープやプリントカーテンとの二重吊りになります。

## ヒダ(プリーツ)の取り方

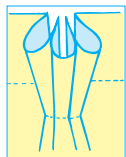
ヒダの取り方によって必要な生地の幅が違ってきますので、オーダーするときは気をつけて下さい。



1つヒダ  
間口寸法の  
1.5倍



2つヒダ  
間口寸法の  
1.8~2倍



3つヒダ  
間口寸法の  
2.1~3倍



ギャザー  
間口寸法の2~3倍

## カーテンレールの種類



シングルレール  
1枚吊り用のレール



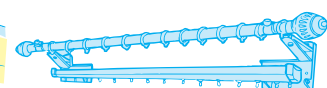
ダブルレール  
二重吊り用のレール  
で外側にレース、内側  
にプリントやドレープ  
カーテンを吊ります。



カーブレール  
コーナーや仕切りをつく  
るときに使用します。



ポール(ロッド)レール  
装飾性が高く、レール自体  
がインテリアになります。

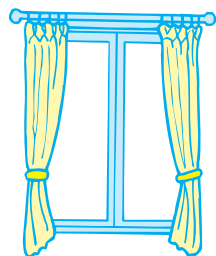


ポール+シングルレール  
さらに装飾性の高いレールで、  
二重吊りに使います。

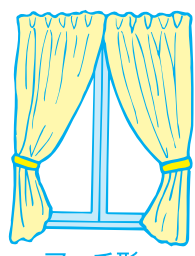


突っ張りポール  
壁に傷をつけずにカーテンが連  
れるポールで、カフェカーテンに向  
いています。

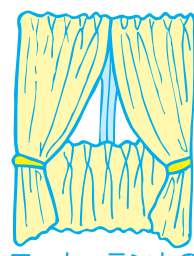
## 吊り方のいろいろ



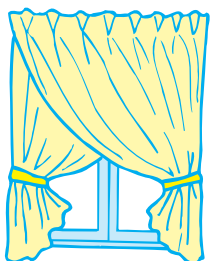
一般的なカーテン



アーチ形  
(上部中央を  
固定したカーテン)



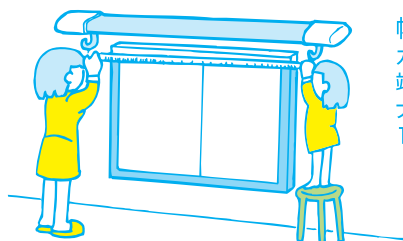
カフェカーテンとの  
組み合わせ



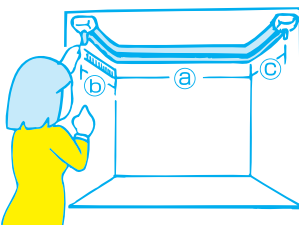
左右を  
クロスさせる  
ブラインド  
タイプ

## 吊り方

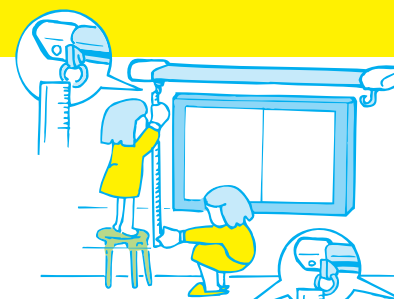
### 1 サイズの測り方



幅  
カーテンレールの両  
端のランナーからラン  
ナーまでの長さ+約  
10cm



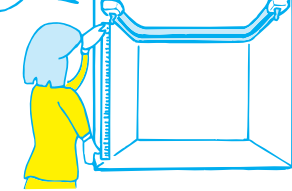
★出窓の場合  
a+b+c



丈  
高窓・腰高窓の場合  
ランナーの穴の下から  
窓枠までの長さ+約  
20cm  
(床下まで垂らす場合  
は床までの長さ+約  
2cm)



★テラス窓・欄間窓の場合  
ランナーの穴の下から床まで一  
約2cm



★出窓の場合  
ランナーの穴の下から窓枠  
まで一約1cm

※サイズは取り付けの際にだいたいピッタリになるようにしていますが、省エネのことを考えると、最近では少し床に流れるぐらいの丈は長めに取った方がいいでしょう。